

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」春野中学校

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

年度末評価
(2月)

反映

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得について、一定の成果が出ているものの、十分ではない。また、メタ認知能力、自己調整の力が弱い。 <指導上の課題> 反復練習する時間、自己の学習を振り返る時間を十分に確保できていない。	⇒ 「スタディサプリ」や「ドリルパーク」の活用、小テストの実施により、基礎的・基本的な内容の反復・習熟に取り組む。【授業の初め等】 「スクールダッシュボード」や振り返りシートを活用し、1時間の授業を振り返る時間を設定する。【毎回の授業の最後】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 表やグラフなどの資料から特徴や傾向を読み取り、言葉や数を用いて表現することに課題が見られる。 <指導上の課題> 生徒自身が考え、判断し、表現する場面の設定が十分にされていない。	⇒ 各教科の授業において、生徒が個人またはペア、グループで考え、判断し、表現する場面を設定する。【単元ごとに1回以上】 教科横断的な視点から、総合的な学習の時間で、各教科で学習したことを活かして思考・判断・表現する場面を設定する。【各学期1回以上】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3>(4月～5月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語の「言葉の特徴や使い方にに関する事項」の正答率において全国平均を下回った。「書くこと」における問では誤った漢字を見つけて修正する問題で全国平均を上回っているため、漢字や言葉を使いこなせる語彙として定着させていきたい。数学では図やグラフの問題では正答率が全国平均を上回った。一方で「数量を文字を用いた式で表す」問題では正答率が下回った。全体的に記述の問題での正答率が低いので、知識を活用する技術を養いたい。理科の「塩素の元素記号」の正答率が全国平均を上回った。「消化による化学変化」の問題に課題がみられた。基礎の定着不足がみられる。	
思考・判断・表現	国語の「話すこと・聞くこと」において全国平均を下回った。自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することが課題といえる。そのため、課題に即してスピーチメモを用意して発表させたり、相互に評価したりする言語活動を取り入れていきたい。数学では、式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明する問題での正答率が全国平均を下回った。理科では「身の回りの事象から生じた疑問解決」や「馳走の性質」の正答率で全国平均を上回った。一方で「実験結果からの分析解決」では課題がみられた。思考の分野で大きくスコアを落としている。図や特徴、結果に対する読解力を底上げしたい。	

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	